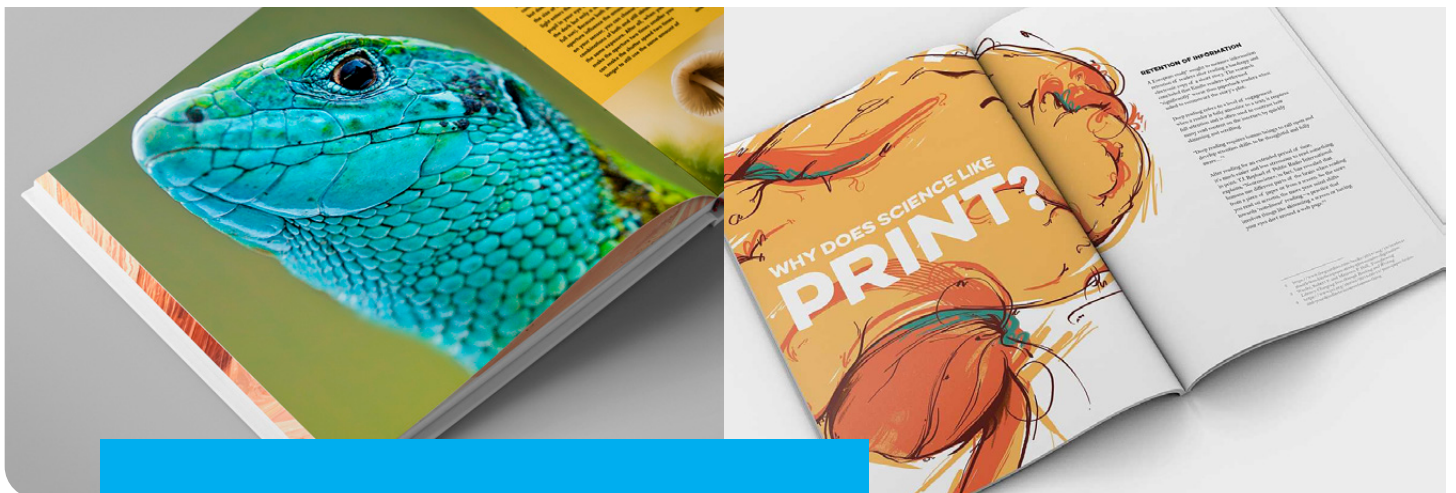




「共存時代」で成功する：
印刷会社はオフセットとデジタルを
どのように取り入れているか



「共存時代」で成功する:印刷会社はオフセットとデジタルをどのように取り入れているか

世界の印刷業界は、新たな段階に入りました。それはデジタルとオフセット印刷の併用が印刷会社の競争力を変革する「共存時代」と呼ばれます。「共存時代」アプローチにより、商業印刷会社は両方の技術の独自の強みを活用し、運用の収益性を向上させ、顧客に最大限の柔軟性、品質、効率を提供できるようになっています。

デジタル印刷の柔軟性、短納期、パーソナライズ機能をオフセット印刷の高品質で一貫した出力と大ロットのコスト効率と組み合わせることで、印刷会社はクライアントに多用途で効率的なソリューションを提供することができます。このハイブリッド モデルにより、カスタマイズとオンデマンド印刷を可能にしながら、大量かつ高品質の印刷物を生産することができ、最終的には生産性が向上し、無駄が削減され、ターゲットを絞ったマーケティングと顧客エンゲージメントの新たな機会が生まれます。

この「共存時代」アプローチを採用する印刷会社は、より効率的かつ創造的に顧客の多様で進化する印刷ニーズに応える強力な立場にあります。これらの2つの印刷方法を統合する印刷会社は、多様な要求に応え、生産性を向上させ、クライアントの進化するニーズに応える革新的なソリューションを提供できるようになります。この建設的な協力は、印刷業界に大きな進化をもたらし、よりダイナミックで多用途な未来へと進化させています。

調査の 主なポイント

NAPCOリサーチは、「共存時代」について詳しく知るためにアンケートを実施したところ、次のことがわかりました。

1. デジタル印刷は成長しているが、オフセットを追い抜くにはほど遠い
2. 「共存時代」アプローチの主なメリットはコスト効率
3. デジタル印刷のメインは依然として小ロット印刷
4. オフセットとデジタルを統合する際の最大の課題は、複雑なワークフローの管理
5. デジタルには、スタッフの徹底的なトレーニングが必要
6. 多くの印刷会社が仕上げ装置の購入を検討
7. 投資の目的は、コスト削減と競争上の優位性の獲得



調査によってトレンドを解明する

NAPCOリサーチは、Kodakのスポンサーシップのもと、「共存時代」について理解し、商業印刷会社がデジタル印刷とオフセット印刷の組み合わせをどのように取り入れているか、そのアプローチの利点と課題を調査しました。アメリカ、ドイツ、日本の商業印刷会社がこの調査に参加しました。（調査回答者の人口統計は付録を参照してください。）

調査によると、商業印刷会社は「共存時代」アプローチの利点を認識し、活用していることが明らかになりました。主な利点として、柔軟性の向上、品質の改善、コスト削減が挙げられます。調査回答者は、短納期やパーソナライズ印刷にはデジタル印刷を、高品質・大量印刷にはオフセット印刷を活用していると述べています。また、印刷会社は両方の方法をシームレスに統合するために、トレーニングや技術に投資していることも強調されています。これにより、クライアントの多様なニーズに応えることが可能となっています。

主な調査結果

調査により、商業印刷会社がオフセット印刷とデジタル印刷を組み合わせている理由やその利点に関する重要な洞察が明らかになりました。

調査結果1: デジタル印刷の量が増加していますが、オフセット印刷が依然として支配

デジタル印刷は増加しており、オフセット印刷を置き換えるのではなく補完しています。調査回答者の60%は、デジタル印刷の生産が増加し、オフセット印刷が減少すると予測しています。この質問の回答は、変化の方向性（増加または減少）に焦点を当てており、その大きさではありません。デジタル生産量は増加するかもしれませんが、オフセット印刷は依然として支配的であり、回答者の仕事の大部分を占めています。調査回答者のうち、仕事の71%がオフセット印刷機で印刷され、19%がデジタル印刷機で印刷されています。全ての国の調査回答者は、印刷の70%から73%がオフセット印刷機で行われていると報告しています。

オフセット印刷は依然として主流であり、自動化と効率の点において改善を続けています。

オフセット印刷は、世界の印刷量の大部分を生産する主要なプロセスであり、その使用は今後もなくなることはありません。デジタル印刷機が登場し、商業印刷会社に手頃な短納期の生産とより自動化されたプロセスを提供した時、オフセット印刷機メーカーは技術革新で応えました。今日のオフセット印刷機は、セットアップ時間を短縮するためのより高速な準備と、自動化を強化して効率を高める機能を備えています。プリプレス技術においても、より高速で柔軟性のある自動化されたコンピュータ・トゥー・プレート（CTP）と、効率を高めるルールベースのワークフローソリューションの革新を続けています。

両方の技術は印刷業界にしっかりとした地位を確立しており、商業印刷会社はこれらの技術が互いに補完し合うことを認識しています。drupa 2024でのプレス技術に関するラウンドテーブルディスカッションでは、英国ドーセット州シャフツベリーにあるBlackmore社のマネージングディレクター、アンディ・ロビンスが「共存時代」アプローチの価値について語りました。



ロビンス氏は、「当社において、デジタル技術の導入は比較的新しいものであり、キーワードは『補完』です。商業印刷業界では、短納期印刷、可変データ印刷、そして試作品印刷をデジタルで行っています。当社はパッケージ印刷にもかなり力を入れており、短納期の包装や試作品をデジタル印刷機で生産しており、これは当社にとって確実に成長している分野です。」と述べています。

今後3年間で、調査回答者の3分の1以上が、デジタル印刷とオフセット印刷の統合が進み、ハイブリッドソリューションの使用が増加すると予想しています。

調査結果2: 「共存時代」アプローチの 最大の利点はコスト効率

「共存時代」技術戦略は、両方の技術の強みを活用することで、商業印刷会社の生産コスト効率を大幅に向上させます。調査回答者の4分の3が、商業印刷業者がデジタル印刷機とオフセット印刷機の両方を運用する最大の理由は、テクノロジーの組み合わせがコスト効率をもたらすためであると回答しています。

調査の質問では、オフセット印刷機とデジタル印刷機の両方を保有している人々が、デジタル印刷がどのように彼らの業務に影響を与えているかについて以下の見解を示しました：

「デジタル印刷により
無駄が減り、運用コスト
を削減できました。」

— 従業員100人以上の
ドイツの商業印刷会社

- あるアメリカの商業印刷会社は100人の従業員を抱えており、「デジタル印刷は生産速度を高め、労働コストを削減し、生産性を向上させ、より少ないリソースでより多くの仕事を処理できるようにし、結果として収益性を向上させています」と述べました。
- 100人以上の従業員を抱えるドイツの商業印刷会社は、「デジタル印刷により廃棄物が減少し、運用コストを削減できました」とコメントしています。
- 一方で、26～50人の従業員を抱える日本の印刷会社は、「労働費を最小限に抑え、運用コストを合理化することで、利益率を大幅に改善し、全体的な財務パフォーマンスを強化しました」と報告しています。

オフセット印刷機とデジタル印刷機の強みをバランスよく活用することで、商業印刷会社は運用効率を向上させ、コストを削減し、質の高い多用途な印刷ソリューションを提供することができます。表1は、デジタル印刷機とオフセット印刷機の両方を運用することの価値を回答者が報告したものです。この組み合わせは、各国の商業印刷会社でトップの反応であるコスト効率を提供するだけでなく、生産の柔軟性を提供しながら、カスタマイズ、納期の短縮、品質に対する顧客の要求を満たすことができます。



表1:「共存時代」アプローチを採用する理由

Q. あなたの印刷施設でデジタル印刷機とオフセット印刷機の両方を運用する主な理由は何ですか？

	合計 n=166	アメリカ n=118	ドイツ n=32	日本 n=16
コスト効率を実現	75%	70%	84%	88%
顧客の品質要件を満たすことが可能	61%	59%	67%	63%
柔軟性を高め、納期を短縮	58%	52%	81%	63%
カスタマイズに対する顧客の需要を満たす	57%	50%	75%	69%
生産の無駄を最小限に抑える	30%	30%	41%	13%

出典: NAPCO リサーチ/Kodak 2024

NAPCORESEARCH

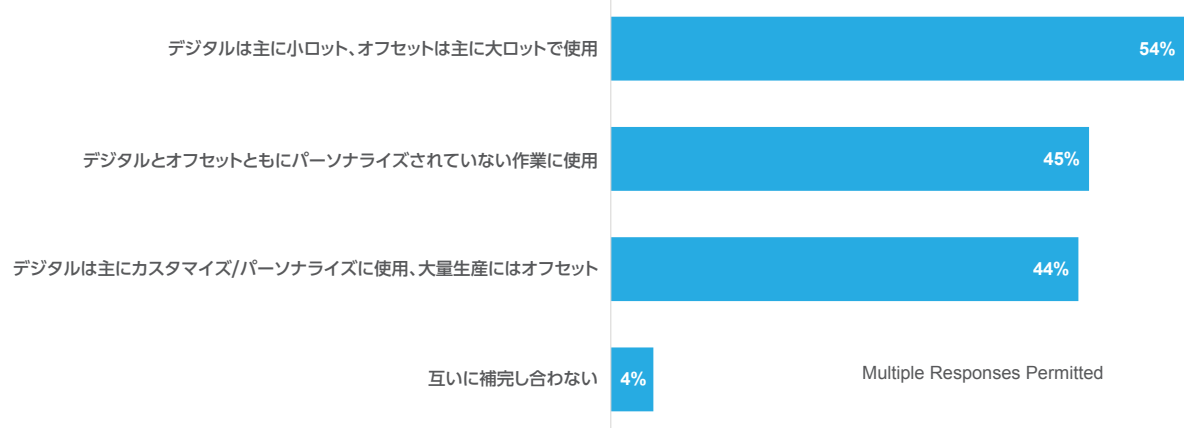
オフセット印刷機は大量印刷や安定した品質の印刷に最適で、一方、デジタル印刷機は短期間の小ロット印刷や迅速な対応に優れているため、両者を組み合わせることで、商業印刷会社は幅広い種類の仕事を効率的にこなすことができます。両方の印刷機を使用することで、印刷会社は最もコスト効率の良い印刷機に仕事を割り振ることができます。大量の仕事はオフセット印刷機に、小ロットや個別対応が必要な仕事はデジタル印刷機に任せることができます。

調査結果3: デジタル印刷は主に少量印刷のプロセスとして考えられています。

デジタル印刷の主な利点は、少ロット印刷に優れていることです。デジタル印刷機は、オフセット印刷に必要な大規模な準備作業が不要なため、初期設定コストが低くなります。図1に示されているように、デジタルとオフセットがどのように補完し合うかについて尋ねたところ、調査回答者の半数以上（54%）が、デジタル印刷は少ロット印刷に最もよく利用されており、オフセット印刷は大容量の生産で高品質で一貫した出力を提供するために最もよく利用されていると報告しました。さらに、44%の商業印刷会社が、デジタル印刷は主にカスタマイズやパーソナライズに使用され、オフセット印刷は大量生産に使用されていると報告しました。

図1:「共存時代」のメリット

Q. デジタル印刷技術とオフセット印刷技術は、御社のビジネスにおいてどのように補完し合っていますか？



n=166 オフセット印刷とデジタル印刷の両方で印刷するアメリカ、ドイツ、日本の商業印刷会社
出典: NAPCO リサーチ/Kodak 2024

NAPCORESEARCH



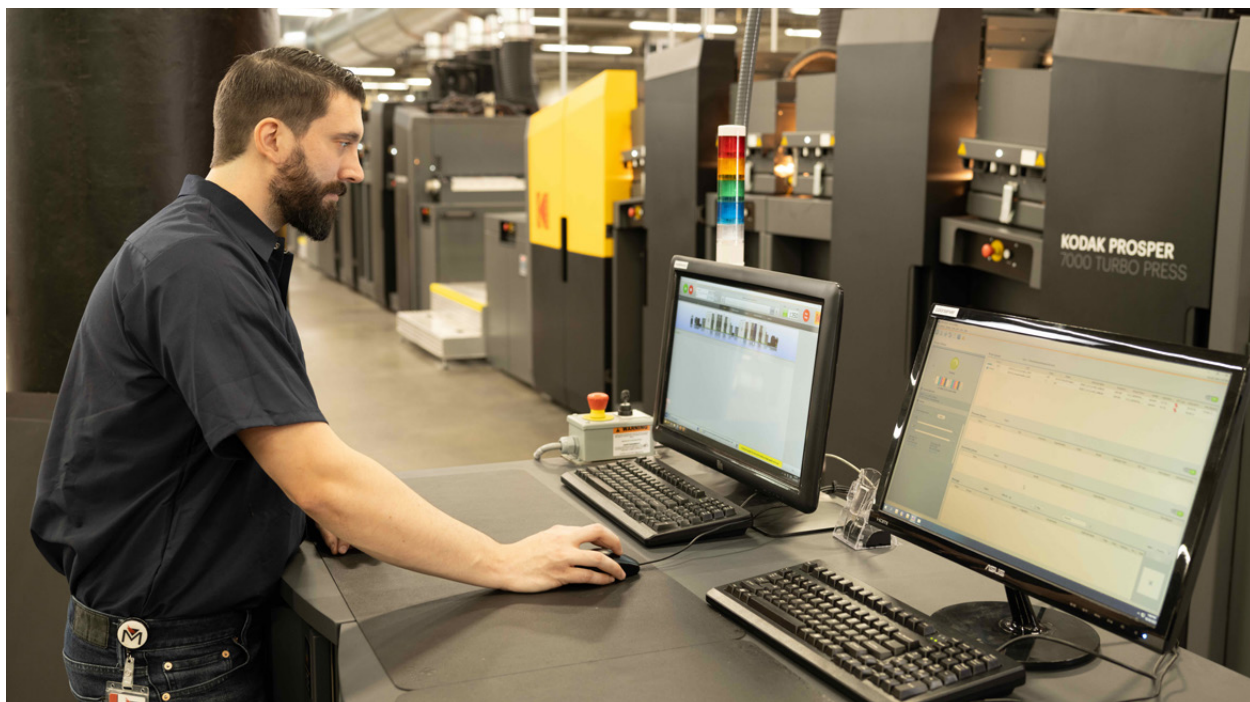
デジタル印刷が彼らの業務に与えた影響について尋ねたところ、回答者は以下のように述べました：

- 「初期コストの削減により、少ロット印刷の作業がより利益を生みやすくなり、ワークフロー効率が向上し、運用コストの削減につながりました。」 — 従業員100人以上のアメリカの商業印刷会社
- 「デジタル印刷は、高価な印刷プレートが必要とせず、小ロット印刷ジョブを低コストで生産できるため、費用対効果の高いオプションです。」 — 従業員26～50人の日本の商業印刷会社
- 「デジタル印刷により廃棄物が削減され、運用コストが削減されました。」 — 従業員100人以上のドイツの商業印刷会社
- 「デジタル印刷により、新しい顧客が増えたため、既存の顧客との強固な関係を維持することができました。これにより、総売上が向上し、提供するサービスの範囲を広げることができました。」 — 従業員26～50人のアメリカの商業印刷会社

「初期コストの低減により、小規模なジョブの収益性が向上し、ワークフローの効率が向上し、運用コストが削減されました。」

— 従業員100人以上のアメリカの商業印刷会社

これらの二つの印刷プロセスを統合することで、印刷会社は多様な市場のニーズに応え、生産性を向上させ、進化する顧客のニーズに対応する革新的なソリューションを提供しています。オフセット印刷とデジタル印刷プロセスの相乗効果は、商業印刷会社に多様性を高めることで競争力を提供し、印刷業界をよりダイナミックで適応力のある未来へと推進しています。



調査結果4：オフセット印刷とデジタル印刷の統合における最大の課題は、ワークフローの複雑さです。

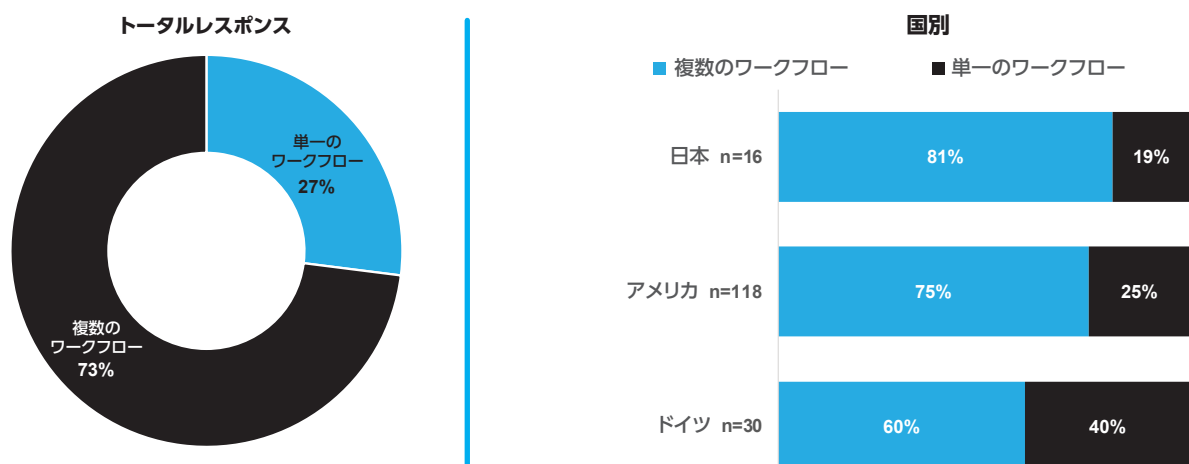
デジタル印刷とオフセット印刷技術を統合する際の最大の課題として、45%の回答者がワークフローの複雑さを挙げました(例：ERP、MIS、および生産ワークフローツールがハイブリッドワークフローを管理できる能力)。ドイツと日本の回答者は、ワークフローの複雑さを課題とする報告が高く、それぞれ67%と56%を占め、アメリカの37%と比較して高い割合を示しています。

「“共存時代“を推進する上での重要な要素は、統合されたワークフローの実現です。」

複数のワークフローを統合する難しさを増大させる重要な要因は、オフセットとデジタル印刷機の両方を使用している回答者の73%が複数のワークフローをサポートしていることです。図2では、複数のワークフローが調査対象国で一般的であることを示しています。

図2：複数のワークフローが混合生産で最も一般的

Q. 全体として、オフセット印刷とデジタル印刷のワークフロー プロセスをどのように管理していますか？



n=164 オフセット印刷とデジタル印刷の両方で印刷するアメリカ、ドイツ、日本の商業印刷会社
出典: NAPCO リサーチ/Kodak 2024

NAPCORESEARCH

2つの別々のワークフローを管理することは、作業の柔軟性を低下させ、スケジューリングを複雑にし、生産性を妨げ、リソースの重複を引き起こし、運用コストを増加させ、ボトルネックを作り出し、エラーのリスクを高める可能性があります。「共存時代」を進めるための重要な要素は、統合されたワークフローの実現となります。

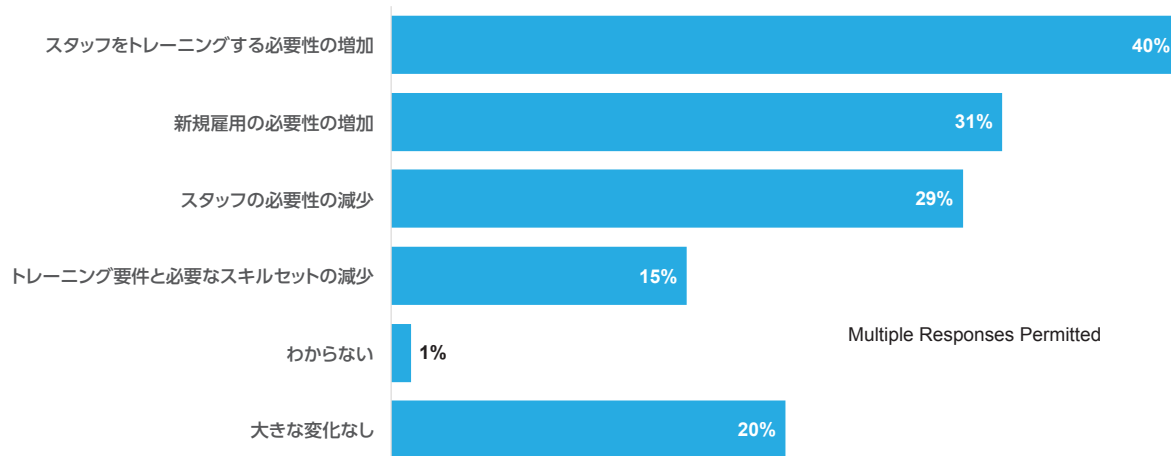


調査結果5：デジタル印刷を導入するには、特定のスタッフのトレーニングを成功させる必要があります、混合ワークフローを管理できる統合された横断的なトレーニングを受けたスタッフが必要です。

回答者は、デジタル印刷を追加することでスタッフのトレーニングを増やす必要があると報告しています(図3)。さらに、別の調査質問では、43%の回答者がデジタル技術とオフセット技術の両方を管理するためには、ワークフローの自動化と統合のスキルが不可欠であると報告しており、これは最も多かった回答です。次いで、43%が色管理の専門知識が重要であると示しています。

図3：デジタル印刷がトレーニングとスタッフに与える影響

Q. デジタル印刷の導入は、次のような点で人員配置とトレーニングの要件にどのような影響を与えましたか？



n=164 オフセット印刷アメリカ、ドイツ、日本の商業印刷会社

出典: NAPCO リサーチ/Kodak 2024

NAPCORESEARCH

アメリカの回答者の39%、ドイツの回答者の53%、日本の回答者の56%にとって、両技術に関するスタッフのトレーニングはデジタル技術とオフセット技術の統合における主要な課題でした。アメリカの印刷会社が両技術に関するスタッフのトレーニングをそれほど課題として報告しなかった理由として考えられるのは、彼らがデジタル印刷を早期に導入し、すでにデジタルワークフローを広範囲に統合しているため、二重のトレーニングの必要性が減ったことです。

トレーニングは、「共存時代」アプローチを成功させる鍵となります。トレーニングは、スタッフがデジタル印刷を全体的な生産ワークフローにシームレスに組み込む方法を理解するのに役立ちます。スタッフのトレーニングに投資することで、印刷会社はデジタル印刷技術の利点を最大限に活用し、移行を成功させることができます。

さらに、オフセット印刷とデジタル印刷は異なるスキルセットを必要とし、オペレーターは両方の技術に精通している必要があります。各印刷方法にはそれぞれの複雑さがあります。オフセット印刷はインク、プレート、機械調整を理解する必要があり、デジタル印刷はデジタルファイルの準備、色管理、および機械のメンテナンスに関する知識が必要です。

オフセットとデジタルのワークフローを統合するには、それぞれのプロセスの仕組みと相互補完性を深く理解する必要があります。この統合は複雑であり、それを効果的に管理するためには十分なトレーニングを受けたスタッフが必要です。

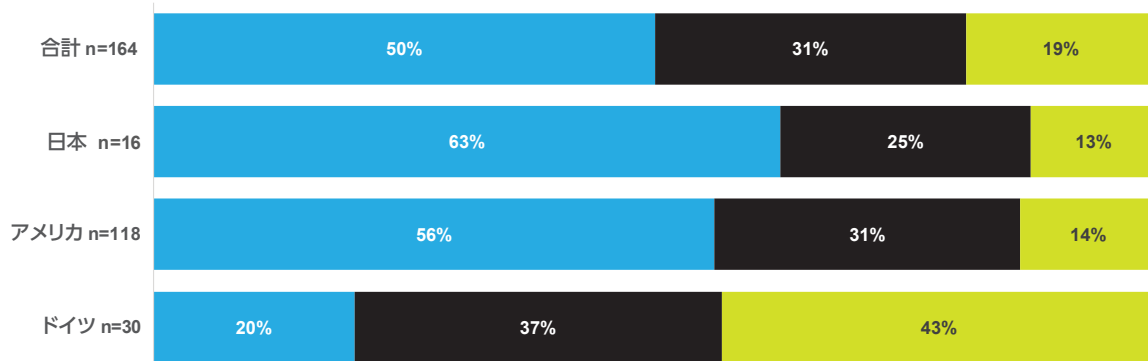


オフセット印刷機とデジタル印刷機の両方を使用している回答者は、スタッフのうち半数のみがオフセットとデジタル印刷の両方の操作に関してクロストレーニングされていると報告しています(図4)。

図4： 混合ワークフローにおける印刷スタッフの役割

Q. 貴社の印刷オペレーターの役割を最もよく表しているものは次のうちどれですか？

- 統合型 (スタッフはクロストレーニングを受けており、両方のテクノロジーを担当) ■ 専門型 (特定のスタッフがデジタルのみ、またはオフセットのみを担当)
■ 部分的統合型 (一部のスタッフはクロストレーニングを受け、他のスタッフは専門分野に精通)



オフセット印刷とデジタル印刷の両方で印刷するアメリカ、ドイツ、日本の商業印刷会社
出典: NAPCO リサーチ/Kodak 2024

NAPCORESEARCH

デジタル印刷とオフセット印刷の両方を管理するには、以下の技術的なスタッフスキルを培う必要があります：

- ワークフローの自動化と統合
- カラーマネジメント
- デジタル印刷技術
- 可変データツール

包括的で継続的なトレーニングプログラムに投資することで、印刷スタッフがオフセット印刷とデジタル印刷の統合されたワークフローを効率的に管理できるようになります。印刷業界は新しい技術や手法で常に進化しているため、オフセット印刷とデジタル印刷の両方の進歩についてスタッフを継続的にトレーニングすることは、高い生産性、質の高い成果物、そして競争で優位に立つための確実な戦略です。

スタッフのトレーニングに投資することで、印刷会社はデジタル印刷技術の利点を最大限に活用し、移行を成功させることができます。



調査結果6：仕上げ装置は多くの印刷会社が購入予定です。

仕上げ、または後加工は、印刷物制作において最も手間のかかる段階の一つです。印刷物の仕上げに必要な多くの作業やプロセスは、時間がかかり、作業負担が大きく、エラーが発生しやすいです。商業印刷会社がデジタル印刷とオフセット印刷を組み合わせたワークフローのメリットを最大限に生かすには、仕上げ装置への投資が不可欠です。調査の回答によると、オフセットおよびデジタル印刷機を所有する回答者が、今後12～24か月で行う予定の最大の投資は仕上げであることがわかりました。

製本および仕上げ装置は、「共存時代」アプローチの利点を活用するための望ましい設備投資です。デジタル印刷によって可能になる短納期の仕事やカスタマイズされた注文は、仕上げ設定の頻繁な変更を必要とし、非効率が生じてプロセスが遅くなる可能性があります。さらに、デジタル印刷機は高速で印刷できますが、仕上げ装置がそれに追いつかないとボトルネックが発生し、生産プロセス全体が遅くなります。

印刷会社がデジタル印刷の割合を増やすにつれて、従来の仕上げ装置がデジタル形式や印刷量に適していないことに気づくことが多くなっています。厳しい納期で少量印刷をこなさなければならないというプレッシャーが高まり、多くの印刷会社は新しい代替手段を模索しています。

今日の仕上げ装置には、さまざまな形式やサイズに対応できる自動製本機や折り機があります。これらの機械は効率を向上させ、マニュアル作業を減らします。

調査結果7：印刷会社は、両方のテクノロジーへの投資によってコストが削減され、競争上の優位性が得られると期待しています。

商業印刷会社は技術投資に高い期待を寄せています。表2に示されているように、設備投資を評価する際、回答者は組織の優先事項として競争優位性の確保、コスト削減、品質向上、現行技術との互換性の確保、事業の拡大を挙げています。

表2：印刷機器投資の決定要因

Q. 印刷機器の投資を決定する際、次の要因はどの程度重要ですか？
極めて重要・非常に重要とランク付けされた項目

	合計, n=230	オフセットのみ, n=64	デジタルとオフセット, n=166
競争優位性の確立	71%	66%	73%
運用コストの長期的な節約	69%	67%	69%
印刷/仕事ごとのコスト	66%	59%	68%
品質向上	65%	64%	66%
既存のワークフローとの互換性	64%	63%	64%
新しいビジネスの推進	64%	55%	64%

対象 = アメリカ、ドイツ、日本の商業印刷会社
出典 = NAPCOリサーチ/Kodak 2024

オフセット印刷機とデジタル印刷機の両方を持つ回答者は、後加工への投資を予定しています。



「共存時代」アプローチは、デジタル印刷とオフセット印刷の両方の強みを活用することで、これらの投資優先事項に取り組めます。この戦略を採用している商業印刷会社は、ビジネスの能力を拡大し、競争相手よりも一歩先を行き、長期的な成功を収めています。

結論

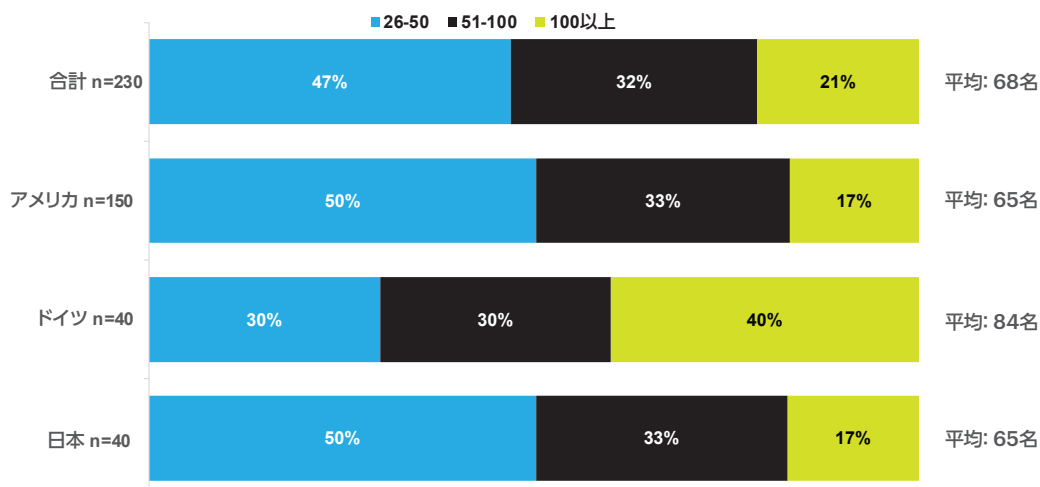
「共存時代」は、世界の印刷業界にとって変革の時代を告げています。この時代では、デジタルとオフセットの両方の印刷技術を組み合わせることで、競争力を再定義しています。調査回答者は、両技術の独自の強みを活用することで、柔軟性を高め、生産性を向上させ、品質を強化し、顧客の要件をより良く満たしています。この統合アプローチにより、商業印刷会社は今日の市場の多様な需要に応えるだけでなく、常に変化する業界で成功するためのポジションを確立しています。調査結果は、「共存時代」戦略を採用することで、印刷会社が優れた価値を提供し、競争相手よりも一歩先を行き、進化し続ける業界で革新を続けることができることを示しています。

付録: 調査人口統計

オンライン調査は、アメリカ、ドイツ、日本の商業印刷会社に配布されました。調査参加対象は、従業員25人以上の商業印刷会社です。図A-1は、調査回答者の従業員規模の内訳を国別に示したものです。

図 A-1: 従業員規模別の回答者

Q. 従業員は何名ですか？



出典 = NAPCOリサーチ/Kodak 2024

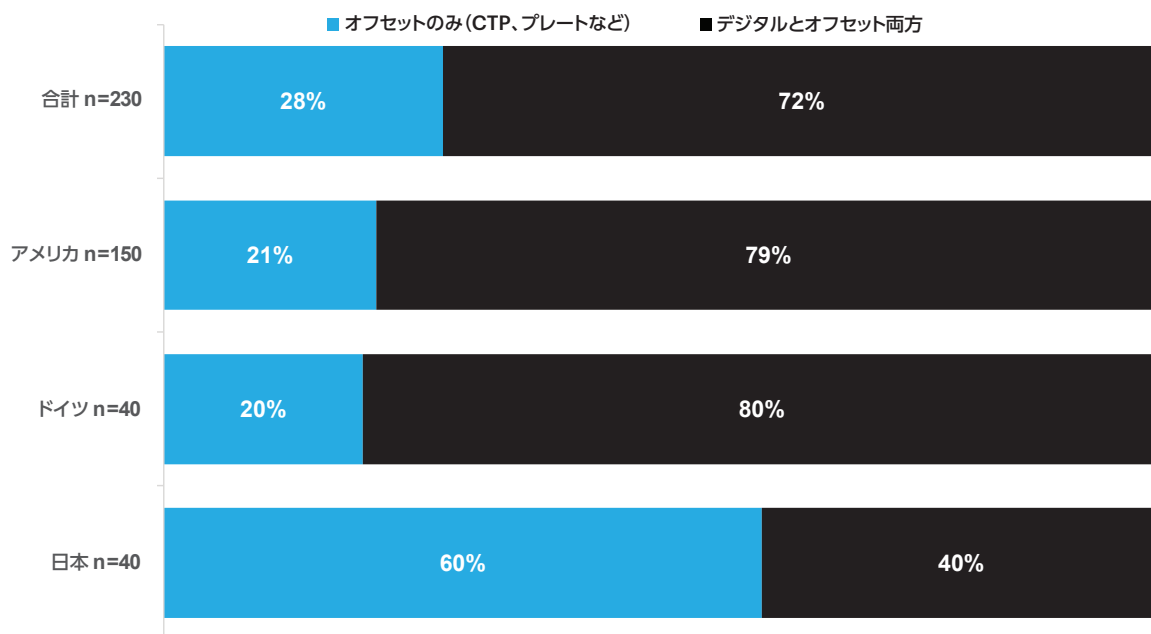
NAPCORESEARCH



調査は、オフセット印刷機とデジタル印刷機の両方を運用している商業印刷会社、および今後12～24ヶ月以内にデジタルへの投資を計画しているオフセット印刷機を持つ会社からの回答を収集することを目的としました。図A-2は、オフセット印刷機のみを持つ回答者と、オフセットとデジタルの両方を持つ回答者を区別して示しています。

図 A-2：印刷技術別の回答者の分類

Q. どのような種類の印刷技術を使用していますか？



出典 = NAPCOリサーチ/Kodak 2024

NAPCORESEARCH



企業 概要



NAPCO リサーチ

NAPCO リサーチは、当社が事業を展開している市場全体の関心の高いオーディエンス、業界の専門知識、および社内の調査専門知識を活用した、カスタムデータ中心のソリューションを作成します。当社はお客様と提携して、お客様固有のビジネス上の問題を特定し、十分な情報に基づいた意思決定を可能にするソリューションを提供します。

NAPCOリサーチは以下のサービスを提供しています：

- ・ビジネス目標の優先順位付け
- ・ビジネス機会創出
- ・市場セグメンテーション
- ・市場洞察
- ・ユーザーのニーズと要望把握
- ・製品の特徴と機能
- ・コンテンツマーケティング戦略
- ・販売戦略と戦術
- ・市場状況の解析
- ・ベンチマーキング
- ・業界のトレンド分析
- ・ブランド認知度

リサーチのご要望がありましたら、research@napco.com にお問い合わせのうえ、当社アナリストにご相談ください。



企業 概要



コダックについて

コダック (NYSE: KODK) は、商業印刷ならびに先端材料、化学薬品分野に特化した世界的な大手メーカーです。130年以上におよぶ研究開発で79,000の特許を取得しており、世界が見たり創造したりするものを強化するテクノロジーとサイエンスの力を信じています。当社の革新的で受賞歴のある製品は、お客様第一のアプローチとの融合により、世界中の商業印刷会社のパートナーとして選ばれています。コダックは、持続可能な印刷ソリューションの開発において業界をリードするなど、環境への配慮に取り組んでいます。コダックの詳細については、[Kodak.com](https://www.kodak.com)にアクセスするか、LinkedIn [Kodak Print](#)でフォローしてください。

